

第3回 電気柵の最重要ポイントは柵線の高さ！

農研機構 畜産研究部門 動物行動管理研究領域 堂山宗一郎氏

被害対策として電気柵を設置している人も多いのではないのでしょうか。電気柵は高い侵入防止効果があります。しかし、「適切に」設置しなければ効果がなくなってしまいます。今回は電気柵の最重要ポイントである電気柵の線(柵線)の高さや間隔について紹介します。

電気柵は、柵線に触れた動物の体に電気が流れ、発生した電気ショックによって痛みや衝撃が伝わることで侵入防止効果を発揮します。しかし、体毛の上からでは電気が通りにくく、ショックも弱くなってしまいます。強い電気ショックを与えるためには、毛の生えていない鼻先で柵線に触れてもらわなければなりません。鼻先で触ってくれるのか？と不安になるかもしれません。これは幸い、イノシシやシカは、見慣れないものや怪しいものに対して鼻先で触ってチェックするという行動の特性があり、細い柵線でも鼻先で触ってくれます。

ただし、柵線の高さや間隔を間違えると途

端に鼻先で触らなくなるため、特段の注意を払って設置してください。イノシシに対応した2段の電気柵の場合、柵線を地面から20cmと40cmの高さ(20cm間隔)にしてください。この高さはイノシシが鼻先で触りやすいことが、科学的な検証により分かっています。柵を高くしたいため、30cm間隔にする方もいます。しかし、間隔が10cm 広くなるだけでイノシシの行動は大きく変わり、鼻先で触らずに侵入します。高さが心配な場合は、20cm 間隔の3段張り(20・40・60cm)をお勧めします。

